

漁業経営改善への新たな一歩



第18回全国 青年・女性漁業者交流大会

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

第18回全国
青年・女性漁業者交流大会
江藤農林水産副大臣の抱負
平成25年2月属人水揚げ表

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

漁協通常総会・総代会
(南郷・栄松・外浦)

BUSINESS

業務情報

JF宮崎漁連オリジナル湯呑み
インターネット数量限定にて
絶賛発売中!!

大地の恵みの名水「美泉水」
販売のお知らせ

「海の命綱ライフジャケット」
着用率向上に向けた推進運動!

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

「初かつおは宮崎だ!!」
宮崎初かつおフェア2013
平成24年度第7回・8回理事会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

マサバの種苗生産技術開発
について ~増殖部~
2月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

漁青連役員会
宮崎県漁協職連ボウリング大会
一般社団法人
宮崎水産振興公社設立総会
2月の動き

宮崎の魅力を



DISCOVER MIYAZAKI
ディスカバー!宮崎

ディスカバー宮崎

SUISAN
MIYAZAKI 03

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

第18回全国青年・女性漁業者交流大会

去る2月28日(木)～3月1日(金)の2日間にかけて、東京都千代田区「グランドアーク半蔵門」において、第18回全国青年・女性漁業者交流大会が開催された。今年度は各県から選ばれた35グループがテーマ別に5つの分科会に分かれ成果を発表した。

- 第1分科会:資源管理・資源増殖部門
- 第2分科会:漁業経営改善部門
- 第3分科会:流通・消費拡大部門
- 第4分科会:地域活性化部門
- 第5分科会:多面的機能・環境保全部門



本県からは、『まき網漁業の経営改善への道 - 父子4人しんだの海に生きる-』と題して、島浦町漁協まき網船・加工グループの山下香一郎氏が第2分科会にて発表を行った。結果は、農林水産大臣賞、水産庁長官賞に次ぐ農林中央金庫理事長賞を受賞した。受賞発表はこちらから
また、農林水産大臣賞は各部門から1名ずつの選出となった。受賞者は下記の通り

第1分科会:北海道 漁業者自らができる資源管理の実践 - 「大黒しまえび」に夢を託して -

高田清治

第2分科会:三重県 カキ殻を有効活用した新しいアサリ養殖 - 種とり(天然採苗)から垂下式養殖まで -

浅尾大輔

第3分科会:山口県 「品質第一!」で、もっと儲かる漁業へ - Fresh室津による漁業経営改善への取り組み -

小濱一也

第4分科会:山口県 海の幸で地域に笑顔と賑わいを - 三見シーマザーズの挑戦 -

塩屋紀美子

第5分科会:沖縄県 海人(漁業者)が作ったNPO法人 - サンゴ礁の里海をめざして -

柳田一平

江藤農林水産副大臣の抱負



この度、農林水産副大臣を拝命した江藤拓です。農林水産業は食料生産のみならず、国土や自然環境の保全、集落機能の維持といった多面的機能の発揮を通じ、国民の暮らしに重要な役割を担っています。農林水産副大臣としての任務の重大さに身が引き締まる思いを感じるとともに、職務にまい進する決意を新たにしているところです。

さて、農林水産業のうち、水産業については、魚価の低迷、漁業生産コストの相当部分を占める燃油価格の高騰等、厳しい環境が続いております。豊かな海に囲まれた我が国の水産業を再生させるため、様々な課題にしっかりと対処してまいりたいと考えております。水産業の大きな課題の一つは、東日本大震災の発生から二年が経過し、被災地の水産業の本格的な復旧・復興を一日も早く実現することです。これまでも被災地の関係者の皆様と連携して全力で取り組んでまいりましたが、被災地における漁船、養殖施設、加工施設、漁港等の漁業生産基盤の復旧・復興に必要な事業を今後も着実に推進するとともに、水産物の放射性物質のモニタリング等による安全性の確保等をしっかりと実現してまいります。

水産業全般の課題としては、まず漁業経営の安定が重要です。従来から行っている、計画的に資源管理に取り組む漁業者に対する漁業収入安定対策と、燃油・配合飼料の高騰対策を推進することにより、意欲ある漁業者の経営安定等に引き続き取り組んでまいります。

また、水産業・漁村には、漁業生産による経済的利益の創出という役割だけでなく、国民の生命・財産の保全、漁村文化の継承等の役割を担っており、広く国民全体の利益につながる多面的な機能を有しております。この多面的機能の発揮のため、平成二十五年度から、漁業者等が地域において行う多面的機能発揮につながる活動に対し、国として支援をしていく新たな事業を展開する予定です。

昨今、国内では水産物の消費量が残念ながら減少しており、これを反転させていくことも重要な課題です。そこで、平成二十五年度から、産地から消費地までの水産物の流通過程の目詰まりを解消するため、販売ニーズや産地情報の共有化等を支援し、水産物の消費拡大と流通促進に取り組んでまいりたいと考えております。

先般、農林水産省は「攻めの農林水産業推進本部」を設置しました。生産現場自らが需要の動向を敏感につかんで高付加価値化等を積極的に進めることにより、農林水産業の潜在力を最大限に引き出し、我が国の成長産業としてのさらなる発展を目指してまいります。特に我が国水産物は、すでに世界の市場においてその品質の高さ等を高く評価されており、輸出促進による「攻めの水産業」の実現を図ります。

宮崎の主要漁業であるかつお一本釣り漁業やまぐろはえ縄漁業におかれては、漁業の将来を担う人材の確保・育成に対する支援や、燃油価格の高騰の影響を緩和するためのセーフティネット対策をぜひ御活用いただき、さらなる発展に取り組んでいただければ幸いです。今後とも、農林水産行政に対する国民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

平成25年2月属人水揚げ表

漁協名 \ 区分	2月分			2月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	2,088	165,276	79	3,497	254,820	73	5,364	377,327	70	-1,867	-122,507	4.1
島浦町	393	118,392	301	649	186,871	288	1,658	192,939	116	-1,009	-6,068	148.2
延岡	41	14,111	340	51	18,414	363	57	24,405	427	-6	-5,991	-14.9
延岡市	72	44,532	623	113	66,069	587	127	52,488	412	-14	13,581	42.4
庵川	117	54,780	470	187	95,864	514	199	93,884	471	126	1,980	9.1
門川	41	17,671	430	52	24,212	464	61	34,499	570	-771	-10,287	-18.7
日向市	526	286,459	545	826	458,756	555	823	366,990	446	3	91,766	24.5
都農町	52	24,575	473	87	48,044	549	74	44,646	605	13	3,398	-9.2
川南町	385	219,359	569	629	353,936	563	778	373,628	480	-149	-19,692	17.2
一ツ瀬	10	7,838	751	26	17,563	663	25	12,684	515	1	4,879	28.8
憶浜	6	2,948	517	15	6,928	470	10	5,190	518	5	1,738	-9.3
宮崎	64	29,956	465	162	74,692	461	158	61,086	387	4	13,606	19.0
宮崎市	49	22,836	469	144	67,301	466	155	72,444	467	-11	-5,143	-0.2
日南市	511	209,693	410	758	339,500	448	878	377,059	429	-120	-37,559	4.4
南郷	868	317,535	366	1,209	492,427	407	958	459,100	479	251	33,327	-15.0
栄松	50	18,498	368	67	30,713	459	71	34,271	484	-4	-3,558	-5.2
外浦	376	155,988	414	460	194,530	422	260	108,403	418	200	86,127	1.1
串間市東	164	62,178	378	236	95,344	404	276	120,657	437	-40	-25,313	-7.5
串間市	815	419,142	515	1,981	1,017,102	513	1,995	1,026,474	515	-14	-9,372	-0.3
合計	6,629	2,191,766	331	11,150	3,843,087	345	13,925	3,838,175	276	-2,775	4,912	24.9

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

♪海とっしょに 浜とっしょに♪

元気に暮らそう JF共済

手コ くらし カサT リコ

ねんきん がんきん なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosui.or.jp>

漁協通常総会・総代会 (南郷・栄松・外浦)

11 月決算組合の平成24年度通常総会・総代会が一斉に開催され、平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画等の提出議案を審議し承認決定した。組織及び事業概況は次の通り。

1.南郷漁協通常総代会(2月5日)	2.外浦漁協通常総会(2月7日)	3.栄松漁協通常総会(2月15日)
正組員数 255名 准組員数 38名 信用事業の貯金高 52億2,303万円 購買事業の取扱高 15億2,797万円 販売事業の取扱高 63億3,033万円 加工事業の取扱高 1億6,883万円	正組員数 118名 信用事業の貯金高 25億1,205万円 購買事業の取扱高 6億5,575万円 販売事業の取扱高 21億3,692万円	正組員数 78名 准組員数 2名 信用事業の貯金高 6億2,093万円 購買事業の取扱高 1億9,828万円 販売事業の取扱高 5億1,053万円

大漁 シリーズ

キョレンオイル
大漁スーパー
大漁ロイヤル
大漁LL
大漁SUPER
大漁TOTAL
大漁MPD

これからよろしく大漁オイル

忘れてませんか？あなたの命を守る大切なもの。

救命衣、着用していますか？

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111



FISHERY MANAGEMENT

JF宮崎漁連オリジナル湯呑み インターネット数量限定にて絶賛発売中!!

現 在、JF宮崎漁連限定商品として販売しております、みやざきで漁獲される15種類のさかなをキャラクターでデザインした湯呑み「みやざきのさかな」とかつお船・まぐろ船の船体をリアルに表現した湯呑み「ぎよれん丸」この2種類のオリジナル湯呑みについて、この度、数量限定でインターネット販売を行います。
引き出物や記念品等、イベント行事などの贈呈品としてもご購入頂けます。ご希望の方は下記の案内ルートにそってご購入いただきますようお願い致します。ご購入はこちらから



大地の恵みの名水「美泉水」販売のお知らせ

発 売当初よりご愛顧頂いております「美泉水」の取扱もおかげさまで6年目を迎えました。改めまして此れまでのご愛顧に対しお礼を申し上げますと共に今後益々、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

美泉水は、「安心して美味しく飲める」をコンセプトに、名水の産地である鹿児島県志布志町安楽の広大なシラス台地に降り注いだ雨水が長年の歳月をかけ岩間から湧水となって吹き出している源水を探取しております。

そのままお飲み頂くのはもちろん、お茶・コーヒーの香りや持ち味をグンと引き立てます。これから暑い夏場を迎え、水分補給が重要となってきます。熱中症等防ぐ為にも、美泉水を愛飲されてはいかがでしょうか？ご購入に関するお問い合わせは下記の通り。

【お問い合わせ先】

本所業務部	0985-28-6111
延岡支所	0982-37-0030
日南支所	0987-23-5231



「海の命綱ライフジャケット」 着用率向上に向けた推進運動！

漁 連は、去る平成25年3月25日JF宮崎漁青連第48回幹部移動研修会の中でライフジャケット着用推進に向けての実演講習会を開催した。講習会では、作業性に優れた本会ブランド商品「自動膨張式JFライフジャケットA」を紹介し、実際に現品を用いて自動膨張式装置の仕組み及び付属品について説明。

自動膨張式装置については、水中に落ちるとスプール(黒い棒状の装置)の中に備え付けてある和紙が水に溶解接続してある針がポンプを打ち破り自動的に膨張する仕組みとなっており、今回は実際に装置を水の中につけ自動膨張する実演も行った。

自動膨張式救命胴衣については、日頃のメンテナンスが重要となることから、自主点検及び保管方法・保証期間についても併せて説明。

また、自動膨張式救命胴衣以外にも、作業性に優れた固定式救命胴衣など見本を用いて紹介を行った。

宮崎県内でも船舶からの海中転落などにより、多数の人命が失われておりライフジャケットを着用している場合と非着用では生存率が3倍以上も高くなっている。

本会としても、関係者対し着用率向上に向け今後さらなる取組を強化し、安全意識を高める活動を行っていききたい。JFライフジャケットAの詳細についてはこちら



「初かつおは宮崎だ!!」 宮崎初かつおフェア2013が始まる。

全国に先駆けて水揚げされる新鮮でおいしい、旬のかつおを県内外の皆様にご覧いただきたく、今年で第8回を迎えるこのフェアは、宮崎初かつおフェア実行委員会(事務局:いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会・宮崎県お魚普及協議会連合会)の主催で、平成25年3月26日(火)から5月12日(日)までの約50日、県内約250店舗の参加により、テレビやインターネット等のメディアを活用し、県内外の皆様にご覧いただくことにより、近海かつお一本釣り日本一の本県が、「初かつおは宮崎だ!!」と言われるよう、かつお消費量においても日本一を目指します。

今回、協賛いただきました26団体・企業は次の通りですが、これらの協賛で「宮崎初かつおフェア2013」が実現できています。

(協賛企業・団体)

宮崎県漁業協同組合連合会、宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会、宮崎県かつお漁業対策協議会、日向市漁業協同組合直営店・海の駅ほそしま、門川漁業協同組合直営店・海遊物産館うみすずめ、宮崎市漁業協同組合直営店・漁師の味港あおしま、南郷漁業協同組合直営店・港の駅めいつ、宮崎県漁業協同組合連合会関係店・魚乃里ぎよれん丸、宮崎中央魚類(株)、(株)宮崎魚市場、(株)都城市中央魚市場、(株)小林魚市場、宮崎市観光協会、日南市・日南市観光協会、宮崎県信用漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会九州事業本部宮崎支店、宮崎県漁業共済組合、宮崎県漁船保険組合、宮崎県漁業信用基金協会、アサヒビール(株)、霧島酒造(株)、米良電機産業(株)、フェニックス・シーガイア・リゾート、宮崎観光ホテル、宮崎・青島パームビーチホテル

また、特別協賛として、九州旅客鉄道(株)宮崎総合鉄道事業部、宮崎空港ビル(株)の二社によるPRとなりますが、九州旅客鉄道(株)宮崎総合鉄道事業部では、日南線観光列車「海幸山幸」にて、県内外乗客に対するPRとして、クイズ当選者にかつお加工品プレゼントを実施します。運行は、春休み、ゴールデンウィーク、土曜・日曜・祝祭日の合計27回の運行となっています。また、主要駅でポスターを掲示してのPRも行っています。

宮崎空港ビル(株)では、空港ビル内の4店舗で、初かつおを使ったメニューの開発やのぼり・ポスターによる大々的なPRを実施しています。



開催式典のぼり渡し式

「宮崎初かつおフェア2013」の開催式典であるのぼり渡し式は、寒さが残りまだ夜が明けていない3月26日(火)午前5:45~6:00、宮崎市中央卸売市場魚競り場で、メディアや水産関係者等約200名が参加して開催されました。次第はまず、主催者あいさつとして、はじめに宮崎初かつおフェア実行委員会会長下野和文氏、続いて生産者の立場から宮崎県漁業協同組合連合会会長及びいきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会会長である丸山英満氏の両氏からご挨拶をいただきました。

続いて、のぼり渡し式及び決意表明となりましたが、永谷良一氏(宮崎県魚市場連合会会長)から田中義博氏(水産仲卸協同組合理事長)及び太田忠興氏(水産買参人組理事長)に「宮崎初かつおフェア2013」ののぼりが交付されました。そして、田中理事長、太田理事長の決意表明がありました。これをもって、「宮崎初かつおフェア2013」がスタートしました。

この後、参加者に対して、初かつお焼っ切りや初かつおの刺身がふるまわれました。



FISHERIES CO-OPERATIVE

知事表敬訪問等

のぼり渡し式の当日、3月26日(火)午後1時30分から県庁知事室において、前述の下野和文氏、丸山英満氏、永谷良一氏ほか事務局員で、知事表敬訪問を実施しました。内容は、かつおの知事贈呈、フェア開始の報告、それにかつおの試食、写真撮影でありましたが、報道関係者多数により、夕方のニュース等で大きく取り上げられました。

この後、農政水産部長等へも表敬訪問を行い、フェアのPRを行いました。

また、事務局員はその後引き続き、宮崎観光コンベンション協会を訪問し、「宮崎初かつおフェア2013」の広報宣伝をお願いしたところです。



アクサレディスゴルフ宮崎大会での初かつおのふるまい

卒業・就職、人事異動、決算など年度末で世間がたいへん忙しい時期に、**アクサレディスゴルフ宮崎大会**が初めて開催されました。

この大会は、3月27日(水)が前夜祭、28日(木)がプロアマ戦、29日(金)から31日(日)の三日間が大会となりました。

この大会は「宮崎初かつおフェア2013」開始時期と重なり、大きなPRの可能性がありましたので前年から期待していましたが、3月13日、約2週間前になりますが、漸く協賛内容の具体的な申し入れあり、それは①前夜祭での現物協賛と②大会当日のふるまいという内容でした。ここから急遽、関係者が内容を詰めて実現されたものです。

右上の写真は、シーガイア・サミットホールでの前夜祭会場に掲げられたかつおや水産ブランド品のパネルです。会場には大会関係者や県内の知名士等約500人が出席され、その中で河野知事が近海カツオー一本釣りが日本一ということを紹介され、初かつお焼切り等がふるまわれました。提供したかつおは大変美味しいとの評判で、またパネルも大きくて出席者の目を引いたとのことでした。大いにPRができたものと考えています。

また、大会当日、三日間で約700食(かつお18尾)の提供でしたが、200~300食の配付は約15分で終了しました。ここでもかつおの美味しさは評判となっていました。



UMKカントリークラブ



プレゼント企画

期間中、のぼりやポスターを掲げる参加店で、かつおを買ったり、食べたりすると、応募・抽選により、①シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート、宮崎観光ホテル、宮崎・青島パームビーチホテルのディナー付きペア宿泊券のいずれかを15名様にプレゼントします。

また、②魚介類商品券または水産加工品を50様にその後の抽選で、プレゼントします。

今回の「宮崎初かつおフェア2013」のプレゼント企画は、新たに宮崎観光ホテル、宮崎・青島パームビーチホテルのディナー付きペア宿泊券が追加されたことにより、たいへん豪華になりました。

皆様の応募を期待しています。



平成24年度第7回・8回理事会

平成24年度第7回理事会

漁 連では、2月22日(金)水産会館第二中研修室において、平成24年度第7回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行った。なお、附議事項第一号議案については継続審議となった。

報告事項

(1) 宮崎県内漁業協同組合及び系統組織機能・基盤強化推進アクションプラン(案)について

附議事項

- ・第一号議案 業務改善命令に関する件
- ・第二号議案 石油類の価格改定に関する件

平成24年度第8回理事会

漁 連では、2月25日(月)水産会館第二中研修室において、平成24年度第8回理事会を開催し、次の事項について議案審議を行い、承認された。

附議事項

- ・第一号議案 業務改善命令に関する件

人と自然との調和

漂白剤

漂白剤

薬用ソルトハミガキ

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

ナチュラルミネラルウォーター

美泉水

お問い合わせ先

本所業務部	0985-28-6111
延岡支所	0982-37-0030
日南支所	0987-23-5231

マサバの**種**苗生産技術開発について ～増殖部～

1 背景

マサバは、宮崎県では主に旋網で漁獲され、また、県内では養殖も行われており、「ひむか本サバ」という名称でブランド化されています。現在、マサバ養殖における種苗はほとんどが天然魚に依存しているため、漁獲状況等に左右される状況にあります。このことから、安定した種苗供給体制を構築するため、平成23年度から、水産試験場において、マサバの人工種苗生産技術開発試験を行いました。

2 親魚と成熟

日向灘近海における天然マサバの産卵期は3～6月頃と言われており、産卵形態としては分離浮性卵で、直径約1mmの球形の卵を産みます。種苗生産用の親魚として、養殖マサバ(ひむか本サバ)を使用するにあたり、生殖腺重量を定期的に測定することで成熟状況を把握しました。平成23年度及び平成24年度の生殖腺指数(GSI)の推移を図1、2に示しました。2カ年のGSIの推移をみると、4月以降雌雄ともに急激に上昇しており、6月上旬くらいまでは高い数値で推移しました。

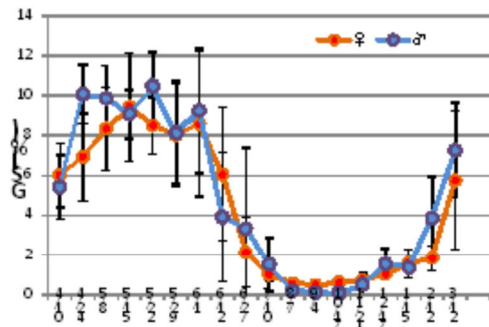


図1 平成24年度養殖マサバのGSIの推移

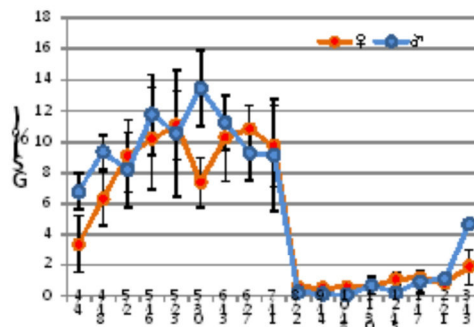


図2 平成23年度養殖マサバのGSIの推移

3 採卵とふ化

採卵にあたり、魚体重約500～550gの養殖マサバに、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(HCG)を魚体重1kgあたり500IUの割合で背筋部に注射投与しました(図3)。投与後、陸上の飼育水槽内で自然産卵させ、産出された卵はHCG投与の2日後の早朝(約40時間後)、採卵ネットから回収しました。1群約40尾あたり、約70～170万粒の卵が得られました。回収卵は、一旦30Lのパンライト水槽内に收容した後、浮上卵と沈下卵に分離後、浮上卵を仔稚魚飼育水槽(5kL)に收容したところ、翌日にふ化が確認されました。2カ年の結果を表1に示しました。



図3 HCG接種と受精卵(右上)

表1 2カ年の採卵とふ化率結果(右)

年度	H23		H24	
	親魚数(尾)	39	37	40
雌雄数(尾)	♂23 ♀16	♂21 ♀16	♂18 ♀22	♂17 ♀20
HCG接種日	5/23	7/4	5/29	7/2
採卵日	5/25	7/6	5/31	7/4
総採卵数(粒)	約67万	約90万	約175万	約114万
浮上卵数(粒)	約21万	約16万	約86万	約24万
(浮上卵率%)	(約31)	(約18)	(約49)	(約21)
ふ化率(%)	約53	約37	約42～44	約6～9
親魚群とHCG接種	輸送直後にHCG接種	左記と同群を約1月飼育養成後再度HCG接種	輸送直後にHCG接種	左記と別群を約1月飼育養成後再度HCG接種

4 仔稚魚飼育試験

平成23年度は、5月25日に採卵した卵を使用し、仔稚魚飼育試験を行いました。浮上卵約15.5万粒から、約8.7万尾のふ化仔魚が得られ、21日令で約1,000尾を生産しました(表2)。

平成24年度は、5月31日採卵群(1R)と7月4日採卵群(2R)から2回の仔稚魚飼育試験を行いました。1R試験においては、初期餌料の栄養強化量に差をつけた2区の試験区を設定しましたが、成長や生残率に顕著な差は見られませんでした(図4、表2)。2区合計で約1,000尾を生産しました(図5、6)。2R試験については、飼育初期のエアレーションが強すぎたため、ふ化率が低下し、計165尾の生産となりました。

項目	H23		H24	
	1R	1R(高栄養強化区)	1R(高栄養強化区)	1R(高栄養強化区)
使用水量	34.5地上水層	34.5地上水層	34.5地上水層	34.5地上水層
使用水量(L)	4,500L	4,500L	4,500L	4,500L
飼育水温(°C)	21.5~26.0	22.3~27.0	22.3~25.3	
採卵群(粒)	約15.5万	約8.0万	約8.0万	
ふ化尾数(尾)	約8.7万	約3.3万	約3.5万	
ふ化率(%)	約53	約42	約44	
ふ化日	5/26	6/1	6/1	
計上日	6/16	6/22	6/22	
計上日中	21日	21日	21日	
生残尾数(尾)	1,065	673	412	
生産率(%)	1.2	1.0	1.2	
平均全長(mm)	28	47	45	
平均体重(g)	0.16	0.83	0.76	

表2 2カ年の仔稚魚飼育結果
(クリックで拡大)

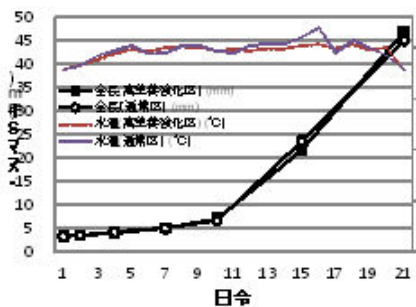


図4 平成24年度1R(2R)の全長の推移



図5 マサバ稚魚 日齢8



図6 マサバ稚魚 日齢21

5 今後の対応

(財)宮崎県水産振興協会においても、平成23年度よりマサバ種苗生産技術開発に取り組みはじめ、本年度には万単位での試験生産に至っているところです。今後は、同協会における種苗量産化の確立に必要な研究支援を行うことで、県内マサバ養殖の経営安定につなげ、ブランド力の向上にも寄与していきたいと考えています。

2月の動き(県関係)

19日	儲かる漁業PJ推進協議会(宮崎市)	26日	第361回海区漁業調整委員会(宮崎市)
27日	第294回内水面漁場管理委員会(宮崎市)		



漁青連役員会

宮 崎県漁協青壮年部連絡協議会(会長 浜本将太)は、去る2月26日(火)漁連会議室にて第1回役員会を開催し、全議案とも異議無く承認された。協議内容は下記の通り



(1)平成25年度通常総会提出議案について

- ① 平成24年度事業報告書及び収支決算書について
- ② 平成25年度事業計画書及び収支予算書(案)について
- ③ 平成25年度会費の額及び徴収方法(案)について

(2) その他

宮崎県漁協職連ボウリング大会

宮 崎県漁協職員連絡協議会(委員長・片伯部修)は、去る2月2日(土)延岡サンボウルにおいて、県北地区漁協職連会員40名のもと、平成24年度宮崎県漁協職連県北地区ボウリング大会を開催した。結果は次のとおり。

地区	県北地区	日時	平成25年2月2日(土)	場所	延岡サンボウル
参集範囲	JF北浦～JF日向市	参加者数	40名		
優勝	柏田師明(JF日向市)	2位	阿部雅芳(JF延岡市)	3位	上杉愛章(JF島浦町)

一般社団法人宮崎水産振興公社設立総会

2 月25日(月)に水産会館4階第2研修室において、一般社団法人宮崎水産振興公社設立総会が開催された。議案は下記のとおりで、各議案とも原案通り承認が得られたことから、今後、公益認定へ向けて準備を進めることとなる。

- 第1号議案 一般社団法人宮崎水産振興公社(仮称)の設立の承認に関する件
- 第2号議案 一般社団法人宮崎水産振興公社(仮称)定款(案)の承認に関する件
- 第3号議案 定款第7条の会費の承認に関する件
- 第4号議案 平成24年度及び平成25年度収支予算(案)の承認に関する件
- 第5号議案 役員を選任に関する件

2月の動き

22日	平成24年度第7回理事会	26日	漁青連役員会
25日	平成24年度第8回理事会 一般社団法人宮崎水産振興公社設立総会・理事会	28～3月1日	第18回全国青年・女性漁業者交流大会

